

# オプトアウト文書（研究対象者向け公開文）

## 1. 試料・情報の利用目的および利用方法

当院では「Dual energy CT (DECT)」という画像診断技術に関する研究を行っています。DECTは、通常のCTと同じ被ばく量で撮影できる新しい方法で、画像の加工により骨や水分などの成分を区別しやすくすることができます。特に、骨の中の水分量を強調した画像（Water像）や、骨の主成分であるハイドロキシアパタイトを抑えて水分を見やすくした画像（HAP像）を作ることができます。これにより、新鮮な骨折や骨髄浮腫などの変化が分かりやすくなる可能性があります。

現在、このDECTで作成した画像が、MRI検査と同じように診断に役立つかどうかを検討しています。対象となるのは、当院で手術を受けられ、手術前にCTとMRIの両方を撮影している患者さんとなります。電子カルテや画像検査データから、必要な情報を匿名化したうえで解析します。この研究のために新たに検査や通院をしていただく必要はありません。また、DECTは通常のCTと同じ被ばく量で撮影できるため、追加の放射線被ばくや身体的な負担はありません。解析は当院の研究者のみが行い、結果は学会や医学雑誌などで発表する場合がありますが、個人が特定されることは一切ありません。

## 2. 利用または提供する試料・情報の項目

- ・年齢、性別
- ・術前CT画像データ
- ・術前MRI画像データ

## 3. 利用する者の範囲

- ・川西市立総合医療センター 整形外科・人工関節センター
- ・必要に応じ、統計解析を目的として匿名化後のデータを外部共同研究者と共有する場合があります（個人が特定される情報は含みません）。

#### 4. 試料・情報の管理責任者の氏名または名称

川西市立総合医療センター

整形外科・人工関節センター 医長 前田ゆき

#### 5. 提供停止の権利（利用や他機関提供の停止）

本研究へのデータ利用については、患者さんご本人または代理人からのお申し出により、いつでも利用を停止することができます。すでに匿名化され解析に用いられたデータについては、削除できない場合がありますが、新たな利用は行いません。

#### 6. ⑤の申し出を受け付ける方法

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。  
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ご質問等がありましたら下記の連絡先まで書面・電話・メールのいずれかでご連絡ください。

##### 【連絡先】

川西市立総合医療センター 人工関節センター

担当：前田 ゆき

住所：〒666-0017 兵庫県川西市火打1丁目4-1

電話：0570-018-199（代表）

受付時間：平日 9:00～17:00（土日祝除く）